

令和2年度 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

◆市町村名

北方町

◆配属部署

教育委員会

◆家庭教育支援員の役割

現在、核家族化が進み保護者が身近に相談できる人や場所が少なくなっているのが現状です。安心して子育てができるよう、相談にのったり、家庭教育に関して学習できる場を提供しています。支援員としてそれぞれの保護者の事情に応じ、少しでも悩みが解消できるよう、色々な場面で声掛けをし、保護者と関わり、相談を受けています。今年度はコロナウイルスの感染拡大での「緊急事態措置」に基づき支援の場所が無くなり、不安な日々を過ごしました。家族と過ごす時間が増えた一方、ストレスを抱えている方に対応できるよう、寄り添った支援をしています。

◆主な活動

■「情報提供」

- きたがた子育てハンドブックの配布。
子育てに関するさまざまな情報を掲載した子育てハンドブックを、妊娠された方、子育て中の方へ配布。乳幼児編、低学年編、高学年編がある。
- 県の家庭教育のリーフレットに教育委員会に家庭教育推進員が常在している案内を付け、町内各施設に配布。
- 北方町子育て支援ガイドの設置、配布。
「つながりと信頼を深め、いきいきとした子どもを育て合うまち北方」を目指し、福祉健康課と教育委員会の連名で発行。お子さんやその保護者を対象とした施設やイベントなどを紹介している。



北方町子育て支援ガイド

■「学習機会の提供」

- 3小1中の4校、各学校で家庭教育学級の支援。
- 4校合同家庭教育学級で在宅取組型「ノーメディアデー」の実施。
中学校のテスト期間中に合わせ、1週間実施。取り組み内容や感想を集計した中で、「よい取り組みだった」「定期的に実施してほしい」と多くの声があり、今後も計画し、各家庭で定着させていく予定。
- 町の取組で家庭教育講座を開催。
講師 NPO法人「あゆみだした女性と子どもの会」理事長 廣瀬直美さん
アンガーマネジメント「～子どものイライラとどう向き合うか～」

■相談

- きた子ども館、みなみ子ども館に出向き、相談対応。

◆成果

○学習機会の提供

4校合同家庭教育学級「ノーメディアデー」では多くの家庭が家族ぐるみで取り組むことができました。家族での時間をつくることができ、会話も増えたことで取り組みの成果が得られ、メディアとの関わり方を考える良いきっかけになりました。
家庭教育講座では、「怒り」の感情と上手く付き合うこと、怒る事のメリット、デメリットを考え、怒って後悔しないための3つのトレーニング方法を学ぶ事ができました。今までとは違う日常の中、普段は生まれない感情に振り回されている事もあり多くの人がストレスを抱えている事を知りました。参加者からは、怒る前に深呼吸やポジティブな言葉をかける事を参考にしたいと、取り組む意欲を伺うことができました。

○施設の訪問

子ども館へ出向き、親子と交流することができました。コロナ禍で、どこにも出かけられず不安の中、再開を知り予約をして参加したとの事。不安や悩みを共有することで母子の情緒安定の場となりました。

◆問い合わせ先

北方町教育委員会

058-323-1115